

平成30年2月27日

## 静岡県における放課後児童対策の状況と課題

### 1 県内クラブの実施状況(待機児童数等の推移)

#### 〈課題〉

- ・ H27の新制度以降受け皿整備を進めているが、待機児童が発生している。
- ・ 入所の要件等が各市町によりさまざまであり、待機児童数のカウント方法も基準がない。
- ・ しかし10月の調査時点では待機児童は5月の6割程度に減少するため、各市町でも施設整備の方向性を決めるのが難しいと聞いている。
- ・ 県内では全体の13%の小学校区において未実施である。

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
クラブ数(箇所) (対前年比増減)	551 (+12)	559 (+8)	569 (+10)	603 (+34)	640 (+37)	<b>682</b> <b>(+42)</b>
施設整備数(箇所)※	7	4	6	32	56	<b>37</b>
登録児童数(人) (対前年比増減)	21,426 (+496)	21,819 (+393)	22,914 (+1,095)	24,704 (+1,790)	26,431 (+1,727)	<b>28,791</b> <b>(+2,360)</b>
待機児童数(人) (対前年比増減)	221 (-102)	361 (+140)	401 (+40)	972 (+571)	1,088 (+116)	<b>1,029</b> <b>(-59)</b>

※施設整備数は補助対象事業のみ

※各年5月1日現在 放課後児童健全育成事業の実施状況について(厚労省)

待機児童数(人) (対5月1日比増減)	108 (-113)	184 (-177)	214 (-187)	588 (-384)	603 (-485)	<b>586</b> <b>(-443)</b>
------------------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	-----------------------------

※ 各年10月1日現在の状況 (当課調査)

【参考】(H29.5.1現在、各市町回答)

県内の小学校区数	県内のクラブ 実施小学校区数	H29年度設置率	県内の児童数
500校区	<b>434校区</b>	86.8%	<b>189,543人</b>

## 2 放課後子ども総合プランに係る実施状況

### 〈課題〉

- ・ 各市町においてクラブは福祉部門が所管しているところが多く、学校内及び学校敷地内で実施する場合、教育委員会からは責任の所在の明確化を求められるなど課題が多い。
- ・ 学校の余裕教室の活用についても、学校長の考え方が大きく影響し、利用できないことが多い。
- ・ 放課後子供教室とは目的や開催回数が異なっているため連携が難しい。責任の所在の明確化などを理由にクラブ利用児童が放課後教室に参加できないという声もある。
- ・ 学校でのクラブ実施については具体的な支援策を示すことが求められている。

項目		施設数	全体に占める割合
放課後児童クラブ実施場所	学校の余裕教室	247	36.2%
	学校敷地内専用施設	228	33.4%
学校との連携の実施	学校との情報交換	679	99.6%
	学校施設の利用	621	91.1%
放課後子供教室との連携	同じ小学校区内で放課後子供教室を実施	187	27.4%
	当該放課後子供教室の活動プログラムに参加	128	18.8%

※ H29.5.1時点現在、放課後児童健全育成事業の実施状況について（厚労省）

## 3 放課後児童支援員認定資格研修の実施状況

### 〈課題〉

- ・ 本県では受講計画にそった研修を実施しており、予定した人数の2/3が研修を修了している。
- ・ しかし実際には、認定資格を取得しても勤務時間や賃金の低さなど処遇の問題から離職する人も多く、現場は人材確保に苦慮している。
- ・ 基本的な質を確保するため認定資格研修は必要であるが、支援員の勤務形態（フルタイム or 短時間勤務）や給与等現状を把握し、人材の定着や確保のための処遇改善策を優先的に検討する必要がある。

年 度	H27	H28	H29	H30	H31	計
受講計画	600人	1,200人	600人	500人	500人	3,400人
修了者数	589人	955人	697人	—	—	2,241人

\*クラブ従事者数3,468人(平成29年10月1日現在、補助員含む。)

\*受講者数には、新規従事者を含む。